親字	音訓	甲骨文・金文・古文（殷・西周・春秋・戦国）			説文解字 秦篆	隷書（秦・前漢・後漢）		草書	行書	楷書（南北朝から初唐）		正字体 楷書	日本上代から平安初期
壱 常①	イチ イツ ひとつ もっぱら		金文	睡虎地秦簡	説文篆文	馬王堆	史晨前碑	智永千字文		雋脩羅碑	九成宮		東大寺献物帳
壹 ②						馬王堆	白石神君碑						空海・灌頂記
						馬王堆							
						馬王堆							
						銀雀山竹簡							
声 教2常①	セイ ショウ こえ こわ	甲骨		睡虎地秦簡	説文篆文	銀雀山竹簡	馬王堆	智永千字文	集字聖教序	元羽墓誌	皇甫誕碑	五経文字	王勃詩序
聲 ②		甲骨				馬王堆	馬王堆			張猛龍碑	孟法師碑		
		甲骨				馬王堆	張遷碑			鄭義下碑			
						馬王堆	孔宙碑			明曇憘墓誌			
						馬王堆	禮器碑						
						馬王堆							
売 教2常①	バイ うる うれる		金文		説文篆文	馬王堆				元略墓誌		九経〈説文〉	王勃詩序
賣 人②						居延漢簡						九経〈隷省〉	

平安中期から室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～大正3年	漢字整理案 大正8年	文部省活字 昭和10年	当用漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
藤原定家	節用	士9			明治の漢字								壹 現代中国
		古文			陸軍			(壹)					
		古文											
		古文											
		古文											
屏風土台	東海道中膝乗毛	士4			漢字要覧								声 現代中国
屏風土台	心学道歌集	耳11			明治の漢字			(聲)					
伝嵯峨天皇		古文			陸軍								
屏風土台	農家調宝記嗣篇	貝8								×			売 現代中国
伝藤原行成		古文											
粘葉本朗詠													

【壱】「壹」の草書からできた字だとおもわれる。
【声】康熙字典の「声」の説明に「聲の俗字」とある。陸軍幼年学校用字便覧に「聲」と「声」について「實ハ別字」とある。正字体を習ったはずの年代の太宰治が「声」を書いている。

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。